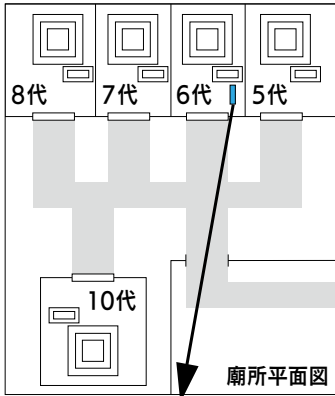


近世大名墓の調査 松平大和守家廟所

喜多院・慈恵堂の裏手には、江戸後期の川越城主・松平大和守家歴代当主の廟（お墓）があります。そこには、巨大な石の五輪塔・碑・門が5基整然と並んでいて、徳川家康の次男・結城秀康を祖とする御家門の風格を感じることが出来ます。

廟所造営から150年余りがたち、全体に傷みが見られるため、平成26年度から5年間の計画で保存整備工事を実施しています。廟所の解体工事に併せて発掘調査も行っています。同27年度には、5代靈鷲院廟旧基壇の石列が見つかったことにより、当初は5代廟が独立して建っていたことが判明しました。同28年度には、基壇内部の造成土の違いから7・8代廟は、先代の隣に増築していることが確認されました。また、10代廟は造営の際、敷地造成のため、南側の土塁を削っている可能性が高いことも分かっています。

発掘調査により外観からは分からなかった、廟所の造営過程や内部構造の一部が明らかになりました。



カラフルニンジン

「丹精込めて作ったカラフルニンジン

を、まずは多くの人に知ってもらいたいですね」と話すのは忍田純啓さん(砂新田)。白・黄・紫など、さまざまな色の品種を育てることに挑戦しています。また、農園に社会科見学に訪れる市内の小学生に、こうした取り組みを紹介しています。「こんな色のニンジンがあるんだ」と驚く子どもたちの顔を見るのがやがいがいとのこと。

カラフルニンジンは、夏場に日照りが続き、土が固くなると発芽することなく枯れてしまうため、土が乾燥しないように注意が必要です。ま

た、霜の影響を受けて根首が凍ると、その部分に変色してしまうことから、泥寄せをして根首を保護するなど常に目を配っています。「なるべく出荷直前に収穫することで、皮に張りのある新鮮な状態で提供することができます」と忍田さん。

忍田さんのカラフルニンジンは、12月上旬に市内スーパーの店頭に並びます。野菜スティックやサラダに加えて、彩り豊かな食卓を家族や友人と囲んでみてはいかがでしょうか。

この時期に市内の直売所などで購入できる主な川越産野菜
ダイコン、カブ、ホウレンソウ、サトイモ、チンゲンサイ、ブロッコリー、コマツナ、ミズナ、ネギ、ハクサイ



力を合わせて抜いたよ!

実りの秋にぴったりの農業ふれあいセンターまつりが11月18日に開催されました。当日は、多くの親子連れが訪れ、ダイコンの収穫体験など川越の「農業」を楽しんでいました。



糖 尿病について考える世界糖尿病デー。ライトアップされた川越駅西口デッキを撮影していると、幻想的な雰囲気の中、「きれい」「ちよっと見ていいこうか」といった声があちこちから聞こえてきました。

編集後記

どんぶり

広報川越1404

発行日/平成29年12月10日(毎月10日・25日発行)
発行/川越市 〒350-8601埼玉県川越市元町1丁目3-1 <http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>
市役所代表 ☎049-224-8811 ☎049-225-2171
編集/広報室

「声の広報川越(CD)」 「点字広報川越」を作成しています。ご希望の方は、広報室までご相談ください。
☎224-5495 ☎225-2171

私的利用の範囲を除き、記事や写真の無断転載を禁止します。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。 リサイクル適性(A)

Fontworks UDFont